



## ゴア® バイアバーン® ステントグラフトを人工血管内シャント静脈側吻合部狭窄のリコイルに対して用いた症例



江口 大彦 先生  
福岡市民病院  
血管外科

### 症例のポイント

人工血管内シャントの静脈側吻合部狭窄は日常よく経験する。治療はPercutaneous Transluminal Balloon Angioplasty (PTA) を行うのが一般的であるが、強いリコイルを生じた場合は initial gain が得られず、長期開存もほとんど期待できない。このような症例に対してゴア® バイアバーン® ステントグラフトを使用することで十分な initial gain と長期開存を期待することができる。本稿ではゴア® バイアバーン® ステントグラフトの適応と留置における手技上のポイントを解説する。

### 患者背景・病変背景

- 41歳 男性
- 病歴：左前腕の人工血管内シャント静脈側吻合部狭窄による静脈圧上昇・シャント音減弱のため加療目的で当科紹介となった。
- 既往歴：IgA腎症 アトピー性皮膚炎 気管支喘息
- 透析歴：13年

2年前に左前腕に6 mm 径の人工血管を用いた内シャントが作製され、以後、5回のPTA歴と1回の修復歴(シャント感染)をもつ。

### ゴア® バイアバーン® ステントグラフト選択の理由

約1か月前に同部に対するPTAを行った既往があり、早期再狭窄症例であった。この時点でバルーン拡張後の病変のリコイル所見によってはゴア® バイアバーン® ステントグラフトを留置する方針とし手技に臨んだ。

## 手技

人工血管に5-0ナイロンでマットレス縫合をかけてその中心部を穿刺しシースを挿入して造影(図1)を行ったところ、人工血管-静脈側吻合部に有意狭窄を認めた。0.018インチガイドワイヤーを通過させ同部をPTAバルーンカテーテル(カッティング型)でwaistが消失するまで拡張し狭窄を解除した(図2)。バルーン拡張術後の造影で同部のリコイル所見を認めた(図3)ため、ゴア® バイアバーン® スtentグラフト 7 mm 径× 50 mm 長を展開し、PTAバルーンカテーテルで後拡張を行った。最終造影でゴア® バイアバーン® スtentグラフトの良好な拡張(図4)を確認し、シースを抜去して先のマットレス縫合を結紮して手技を終了した。

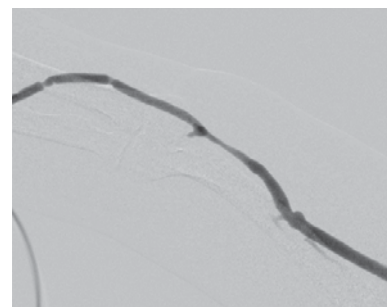


図1



図2

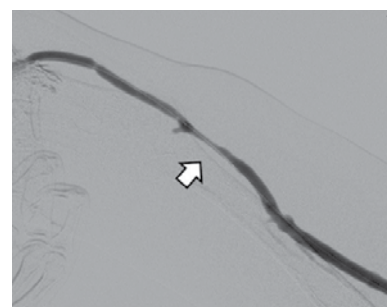


図3

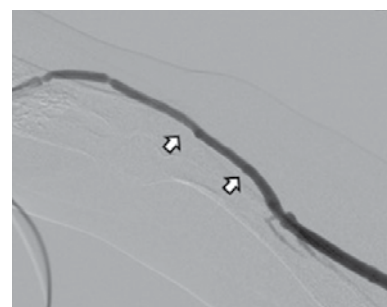


図4

## 結果、術後経過

術後82日目に人工血管内狭窄を認めたため同部のPTAを行ったが、ゴア® バイアバーン® スtentグラフト周囲の狭窄所見はなく、現在8か月を経過しているがゴア® バイアバーン® スtentグラフト周囲の狭窄はなく開存している。

## 考察

2020年6月からゴア® バイアバーン® スtentグラフトが人工血管内シャントの静脈側吻合部狭窄の治療に保険適用されたことで、強いリコイルを生じる今回のような症例でも良好な initial gain とともに長期開存を得ることが可能となったと考えている。手技的にもゴア® バイアバーン® スtentグラフトは正確な位置決めが容易で、今までステント留置を行ったことがない方でも容易に留置できると思われるが、重要なことは症例の選択とサイジングであると考えている。我々は、症例の選択においては短期間の再狭窄症例あるいは強いリコイル症例に限定しており、明らかな責任病変を特定しないまま保険適応内であるからという理由で安易にゴア® バイアバーン® スtentグラフトを留置しないようにしている。サイジングについては、流出静脈に対してオーバーサイズのゴア® バイアバーン® スtentグラフトは開存率を低下させる懸念がある。もともと留置された人工血管径は参照できない(人工血管内腔には仮性内膜ができてることが多い)ことに注意し、透視上でPTAバルーン径や長さを参照として正確にサイジングを行って、流出静脈よりも小さめのステントグラフトを選択している。ただし、流出静脈のサイズと開存率の関連についてはエビデンスレベルが低いので、今後のさらなる検討を待ちたい。

販売名:ゴア® バイアバーン® スtentグラフト 承認番号:22800BZX00070000 一般名称:ヘパリン使用中心循環系ステントグラフト(ヘパリン使用血管用ステントグラフト)

この資料は医療関係者の方向けです、それ以外の方への再配布はご遠慮ください。製品のご使用前には必ず添付文書をお読みください。

本稿に記載した転帰および所見は、個々の症例経験および治療患者に基づくものです。本稿には添付文書に示された手順のすべてが記載されていない場合があり、本稿は添付文書、または医療提供者の教育、訓練、専門的な判断の代替となるものではありません。患者管理および医療技術の利用に関する意思決定は、すべて医療提供者の責任において行われるものとなります。

ゴア、GORE、バイアバーン、VIABAHNおよび記載のデザイン(ロゴ)は、W. L. Gore & Associates の商標です。

© 2021 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 2147381-JA MARCH 2021

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.

製造販売元 **日本ゴア合同会社**  
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル  
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 gore.co.jp

